

《報 告》

## 国士館大学 法学部 の誕生を、迎ると…

国士館大学 法学部  
開設50周年 記念事業 実行委員長

高 野 敏 春

（法学部法律学科6期生）

平成28（2016）年度、国士館大学法学部は、開設50周年を迎えるにあたり、この記念事業の一環として、ここに「国士館大学法学部開設50年史」ならびに、國士館法学第49号「国士館大学法学部開設50周年記念号」が発刊されますことは、関係者一同の大きな喜びとするところです。

本法学部の50年史について、携わることから、「国士館大学新聞」に目を向けて、法学部の誕生当時にご尽力いただいた方々の思いや、国士館を大正時代の日本に誕生させた創立者 故 柴田 徳次郎 先生や、創立者と早稲田大学学生時代の畏友となる 故 中村 宗雄 先生について読み進むと…

大正6（1917）年「私塾、國士館」は、麻布から世田谷に移り、昭和28年短期大学を創立し、昭和33（1958）年4月に国士館大学を創立しています。

人間教育をめざす建学の精神は「不断の読書、体験、反省」思索にもとづき、「誠意、勤労、見識、気魄」の四徳目を修得するため、教育課程により具現化し、体育学部が始まる総合大学8学部が、国士館の基に開設されました。

創立者が存命中の国士館大学新聞記事には、法学部・文学部の開学は

「開設」という標記となっていることに気づきます。

昭和41年5月27日号の「法学部文学部の開設」に関する大学新聞をはじめ、当時の大学式典を記した昭和43年6月27日号においても「大学院各学部 開設記念を祝す」と題し、当時 副学長の 柴田 梵天 先生の式辞が掲載されています。

体育学部の50年記念誌も「開設」と言う標記で同様に扱われています。

本法学部では、過去の記念誌や学術論文記念誌に「創設」という標記で整えられていますが、50周年を機に記念事業の魂となる「温故知新」に触れるという思いからも「開設」に改めることし、創立者や初代学部長となる 中村 宗雄 先生の熱き心の息吹を、将来の後進たちにも伝えていきたいと思えます。

開設50周年記念行事を進める機会を得て、国士館の歴史や法学部開設にかかわる先人の思いに、私たちも心を馳せてみたいと思えます。

国士館の礎に、本法学部の「開設」への思いを、ここに記します。